



日建連表彰 2020



第61回 BCS賞

日本橋二丁目地区 プロジェクト

選定理由

【選考委員】
後藤春彦・川島克也・松村正人

日本橋二丁目地区プロジェクトは、四街区にまたがる第一種市街地再開発事業であり、高橋貞太郎・村野藤吾設計による百貨店初の重要文化財「日本橋高島屋S.C.本館」を事業の核と位置付け、保存活用することで東京・日本橋の伝統文化を受け継ぎ、そこに二棟の超高層ビルなどを新築した総延べ面積約二九万平方メートルの再開発である。

商業、オフィス、文化・観光などの機能を複合したA・Dの街区から構成され、本館（B街区）の東側に高さ約一四三メートルの「太陽生命日本橋ビル」（A街区）、北側に高さ約一七六メートルの「日本橋高島屋三井ビルディング」（C街区）が建つ。それぞれの低層部には日本橋高島屋S.C.、高層部にはオフィス、D

街区には地域防災倉庫が配されている。

都市計画上的特徴としては、南北の二事業一体で都市再生特別地区の指定を受けており、区域全体の容積率は一、四〇〇%が認められている。再開発と重要文化財の保存活用という相反する要素を両立させるため、B街区を保存活用し、未利用容積をA、C街区に移転し、新築街区を高層化することで、新旧の対比による日本橋らしい新たな都市景観を生み出している。

本プロジェクトの象徴的な賑わいの核は、本館と新館の間に設けられた「日本橋ガレリア」である。かつては人通りの少なかった狭い区道で、屋根のある歩行者専用道路に変え、通りの両側に店舗を配置し、誰もが楽しく歩けるよう回遊性を高めた。このガレリアの大庇は、高さ約四〇メートル、長さ約九〇メートルのガラス屋根で、村野氏の設計による意匠的な価値

を持つゾウを模した本館の塔屋を包み込むよう軽やかに波打ちながら、奥行き一八メートルの大庇をC街区側から片持ちで支えている。この大庇が新旧の建物を融合させ、この街の持つ多様な価値を広げ、次世代へと継承している。

もうひとつの象徴的な空間は、かつては動物園やバラ園として活用されていた本館屋上に設けられた約六、〇〇〇平方メートルにも及ぶ緑豊かな庭園である。街区間をブリッジで繋ぎ三街区一体とすることで、屋上空間にも回遊性を持たせ、さらなる賑わいをつくり出している。新たな屋上は、日本橋で働く人びとの憩いの場であると共に、来街者が重要文化財の歴史を間近に感じながらゆったりとくつろげる、魅力的な都市空間へ変貌を遂げた。

設備面では、本館が重要文化財に指定されているという構造的制約から、最新の大規模熱源機器に更新することが難しい。そのため、三街区の熱源を都地冷（東京都が区域指定した熱供給事業者）により集約し、各街区に熱源を供給することで省エネ基準値よりCO₂排出量の約三〇%削減を達成している。大規模な重要文化財を活用しながらそのエリアを再生するには、プロジェクト関係者の長きにわたる情熱と協力関係が必要である。日本橋二丁目地区プロジェクトは、建築主、設計者、施工者の相互協力により、日本橋の持つポテンシャルを未来へ繋ぎ、新たな価値を創出した先駆的成功事例として、高く評価されるべきものである。

日本橋二丁目地区 プロジェクト 計画概要

- 建築主 日本橋二丁目地区市街地再開発組合、太陽生命保険(株)、(株)高島屋、三井不動産(株)
- 設計者 (株)日本設計、(株)プランテック 総合計画事務所、Skidmore, Owings & Merrill LLP、(株)大林組、鹿島建設(株)
- 施工者 (株)大林組、(株)竹中工務店、鹿島建設(株)
- 所在地 東京都中央区日本橋 2-11-2、2-4-1、2-5-1、2-7-4
- 竣工日 2019年2月28日
- 敷地面積 A街区: 2,991m²
B街区: 8,364m²
C街区: 6,023m²
D街区: 265m²
- 建築面積 A街区: 2,699m²
B街区: 7,777m²
C街区: 5,979m²
D街区: 163m²
- 延床面積 A街区: 60,138m²
B街区: 77,977m²
C街区: 148,064m²
D街区: 294m²
- 階数 A街区: 地上27階、地下5階、塔屋2階
B街区: 地上8階、地下3階、塔屋4階
C街区: 地上32階、地下5階、塔屋1階
D街区: 地上1階、地下1階
- 構造 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造



詳細や他の写真などは左記のQRコードからWebページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰 2020 第61回BCS賞受賞作品》 追手門学院大学 Academic Ark / オーテピア 高知新図書館等複合施設 / 関西外国語大学 御殿山キャンパス・グローバルタウン / 資生堂グローバルイノベーションセンター S/PARK / 上越市立水族博物館 うみがたり / 水天宮御造替 / 須賀川市民交流センターtette / 東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス / 豊中市立文化芸術センター / とらや 赤坂店 / NICCA / イノベーションセンター / 日本橋二丁目地区プロジェクト / パシパタウン黒部 第1街区 / 日向市庁舎 / 福井県年輪博物館

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2020年で61回を数えました。